

16 ボックスベアリング横引き工法

NETIS登録製品
KT-990571-A

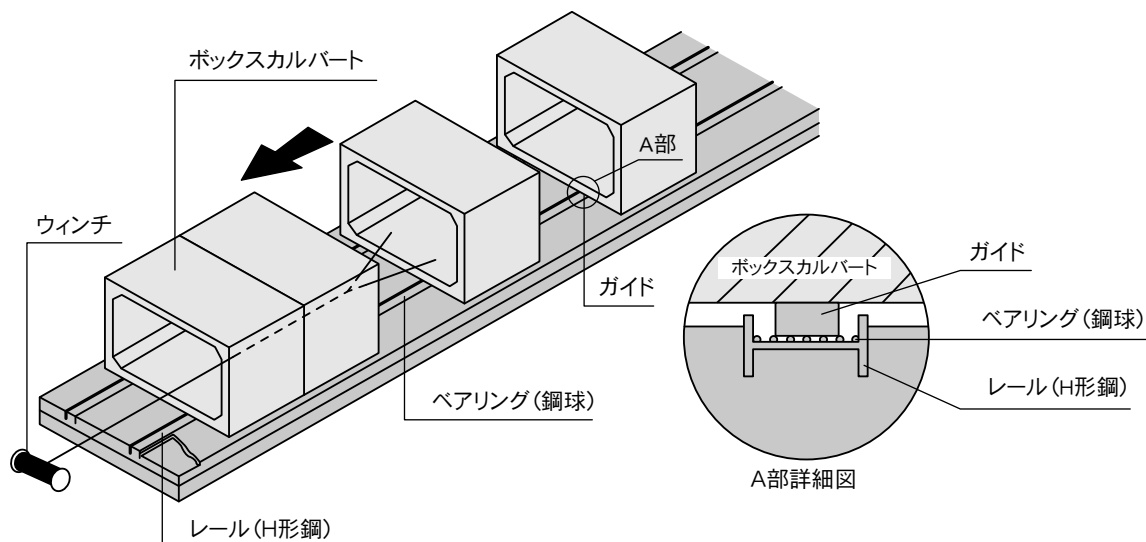


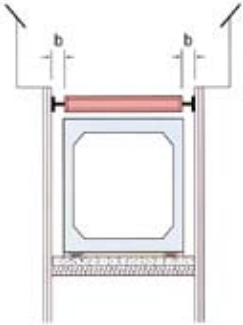
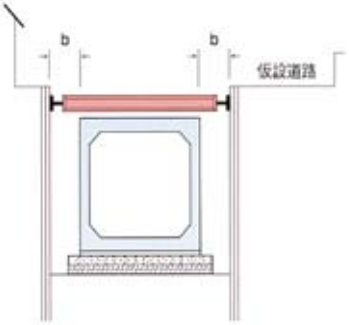
概要

ボックスカルバートを所定の搬入口より吊りおろし、ベアリング（鋼球）とウインチによりレール（H形鋼）に沿って、ボックスカルバートをけん引して敷設する、技術提案型・トータルコスト低減型ボックスカルバート敷設工法です。

特長

1. 施工ヤードが狭くても、円滑な敷設作業ができます。
2. 搬入作業（クレーン作業）と敷設作業（横引き作業）が分離でき、急速施工が可能です。
3. 従来工法に比べて、掘削幅が小さくなります。
4. 覆工板を設置すれば、地下内での作業のみとなり、上部の交通が開放できます。
5. 敷設に伴ってクレーンが移動する必要がなく、おろし場所が一ヶ所で敷設できます。
6. 高架橋、電線等の上部障害物がある場所でも敷設作業が可能です。
7. 従来工法に比べて、工費の低減、工期の短縮、安全性の向上がはかれます。
8. 縦断勾配10%までの施工、カーブ施工が可能です。
9. 台車を使用することにより、段差がある場所でも施工できます。



工 法	ボックスベアリング横引き工法	従 来 工 法
断 面 図		
掘削余裕幅	b = 200mm以上	b = 500mm以上
仮 設 道 路	不要	必要
敷 設 精 度	◎	○
安 全 性	◎	○

施工手順



基礎コンクリート上にレールを設置し、ベアリング（鋼球）を敷詰めセット完了



所定の位置から、製品を吊り下ろします。製品の底面に取り付けられているガイドが、ベアリング上を移動します。



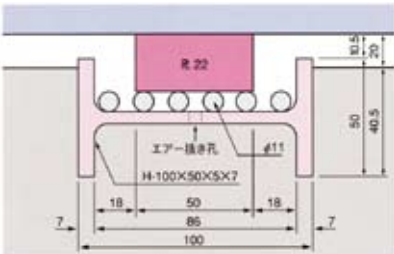
ウインチにより製品をスライドさせ、ボックスを据え付けていきます。



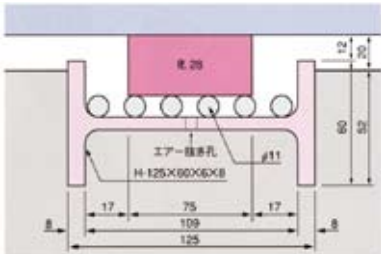
所定の個数を縦締め緊張しながら据付が行われます。底版からモルタルを注入し函渠工事は完了となります。
※ボルト連結の場合もあります。

サイズ別ガイド・レール規格

Aタイプ (H-100×50×5×7)
(BOX-600×600~BOX-2000×2000)



Bタイプ (H-125×60×6×8)
(BOX-2200×1800~BOX-3500×2500)



Cタイプ (H-150×75×5×7)
(BOX-4000×2000~)

